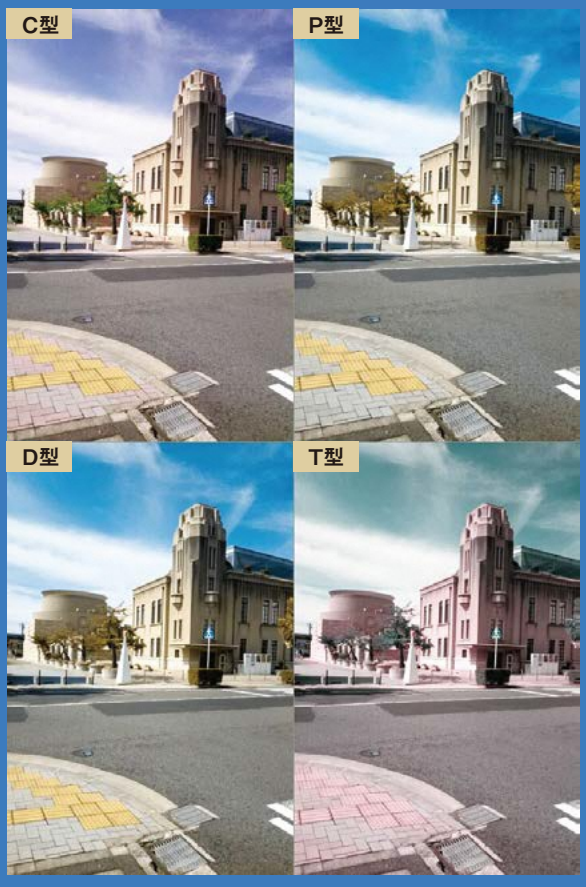
カラーユニバーサルデザイン
改善事例

不特定多数のかたが利用する施設のために

その案内・サインの「色づかい」
すべての人が同じ色に見えているのでしょうか？



「わらべ館」
色の見え方のシミュレーション

鳥取県地域社会振興部人権尊重社会推進局人権・同和対策課

1 カラーユニバーサルデザインとは

色の見え方の異なる人（*1 赤緑色弱）は、日本人男性の20人に1人、女性の500人に1人、日本全体では約320万人いると言われています。

そのため、できるだけ多くの人に情報が正しく伝わるように、色の使い方や文字の形などにあらかじめ配慮することを「カラーユニバーサルデザイン」といいます。

*1…生まれつき赤と緑が同じ色に見える人のことをいいます。

2 色覚の違いと呼称（用語）について

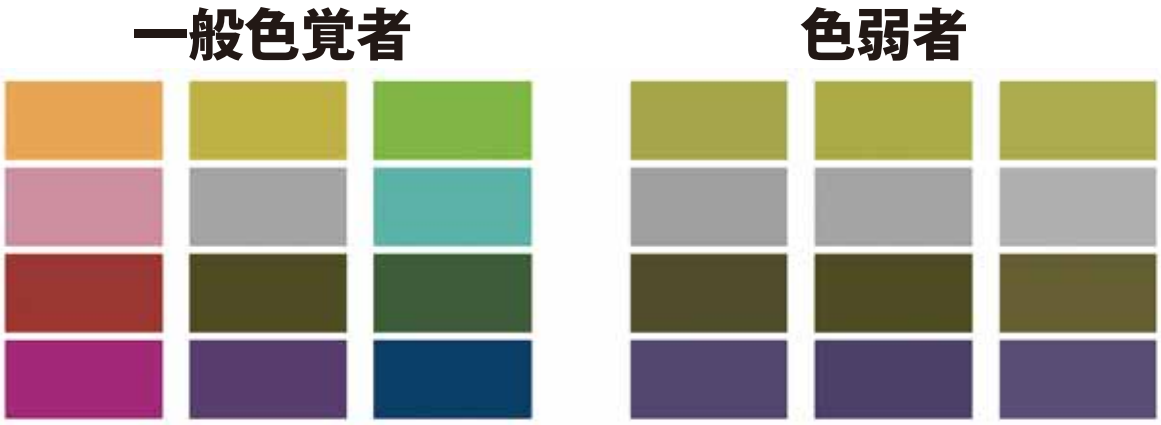
この改善事例では、一般色覚者と色弱者を「正常」と「異常」で分類するのではなく、多様性として捉えて欲しいとの考え方から、C型を「一般色覚者」、P型、D型等を「色弱者」という呼称を使用しています。

<table>
<tr><th colspan="2">*2 CUDOの新呼称</th><th colspan="3">従来の呼称</th></tr>
<tr><td>C型</td><td>一般色覚者</td><td colspan="2">色覚正常</td><td>3色型</td></tr>
<tr><td>P型（強・弱）</td><td rowspan="3">色弱者</td><td rowspan="3">第1
第2
第3</td><td rowspan="2">色盲・色弱
色覚異常
色覚障害</td><td rowspan="3">2色型
異常3色型</td></tr>
<tr><td>D型（強・弱）</td><td rowspan="2">赤緑色盲</td></tr>
<tr><td>T型</td><td>黄青色盲</td></tr>
<tr><td>A型</td><td></td><td colspan="2">全色盲</td><td>1色型</td></tr>
</table>

*2…「CUDO（クドー）」とは、社会の色づかいをすべての人に分かりやすいものに変えていくことで「人にやさしい社会づくり」を目指して設立された団体「特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構」の略称です。

3 色の組合せについて

色を組み合わせる時は、C型、P型、D型等の色の見え方を色弱疑似体験メガネ・色弱当事者に尋ねる・スマホのアプリを使うなどで確認し、できるだけ多くの人に見分けやすい色を選びましょう。



注）この画像は、色弱者の色の見分けにくさをシミュレーションしたものであり、色弱者が感じている色を完全に再現したものではありません。

4 カラーユニバーサルデザイン施設調査

不特定多数のかたが利用する施設等の案内・サインなどが「誰にでもわかりやすい色づかいやデザイン」になっているか、色弱当事者（P型、D型）のかたが実地検証を実施し、検証結果をもとに、「できるだけ多くの利用者に見分けやすい色づかい」に配慮した施設にしていくための改善例などを提示しました。

（調査施設：とりぎん文化会館、県立博物館、わらべ館、砂の美術館、県庁本庁舎、県民体育館、県立中央病院、JR鳥取駅、鳥取砂丘コナン空港、道の駅「神話の里 白うさぎ」）

【調査の様子】

（とりぎん文化会館）

（JR 鳥取駅）

5 施設調査（検証）結果について

よく見られた問題と簡単な改善例❶

黒い背景に重要な情報を赤色で強調したつもりの色づかいが、赤色は黒色と同じ色に見えるため文字に気がつかないことがあります。

生命に関わることもあるので、色づかいへの十分な配慮が必要となります。

×赤は強調しているようで目立たない!
×赤と黒は同じ色（黒く見える）!

◎橙（オレンジ）色は目立つ!
◎橙と黒は見分けができる!

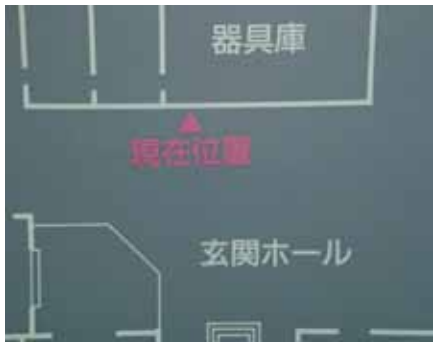
改善例

鳥取県人権文化センターキャラクター
「ふらっチョー」

よく見られた問題と簡単な改善例❷

施設でよく見られる案内図（現在地）が、背景色と文字の色がよく似た色に見えるため文字が読みづらくなることがあります。急いでいる時など、今いる場所が分からなくなるため色づかいの配慮が必要となります。

×現在地の文字が色（赤）だけの表現だけでは見づらい、分かりづらい!



改善例

◎示図（橙色など）や白抜き文字を使用すると分かりやすい!

よく見られた問題と簡単な改善例❸

施設のトイレ案内表示（絵文字）が、背景色と同じ色に見え、表示が見づらくなることがあります。急いでいる時は、男女を間違えてしまうことがあるため彩度や明度の配慮が必要となります。

×彩度の低い（パステル調）色を何色も選ぶと、色の違いが分かりづらい!

改善例

◎彩度は「高い色」と「低い色」を組み合わせ、明度は「明るい色」と「暗い色」を組み合わせる!

※弱視者問題研究会作成（男女用）

6 カラーユニバーサルデザインの進め方

カラーユニバーサルデザインで最も大切なことは、誰にでも分かりやすい色を使うことです。カラーユニバーサルデザインの3つのポイントに配慮することにより、できるだけ多くの人に情報が正確に伝わるようになります。

カラーユニバーサルデザインの3つのポイント

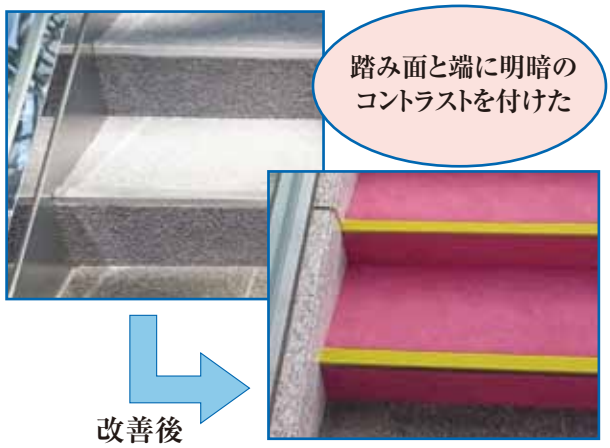
1. できるだけ多くの人に見分けやすい配色を選ぶ。
2. 色の見分けにくい人にも情報が伝わるようにする。
3. 色の名前を用いたコミュニケーションを可能にする。

7 調査施設の改善事例

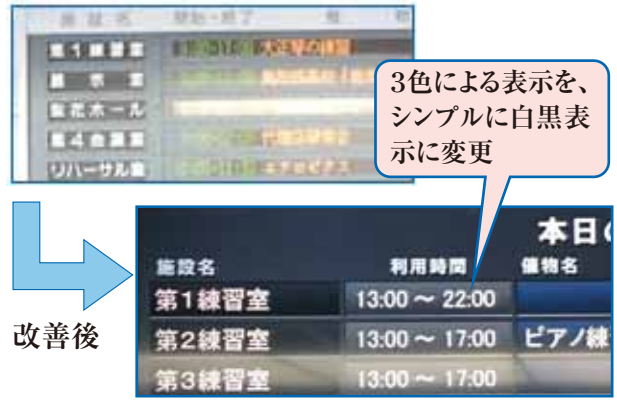
ここからは、調査で指摘のあったことについて、各施設などがカラーユニバーサルデザインの3つのポイントに配慮しながら改善された例をご紹介します。

主に 6 の1に配慮した事例

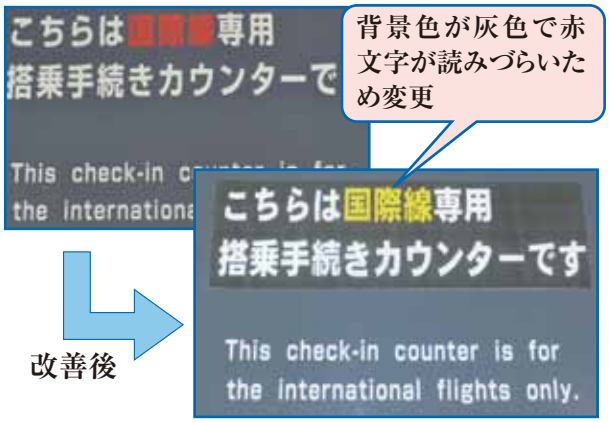
1 【とりぎん文化会館】(階段)



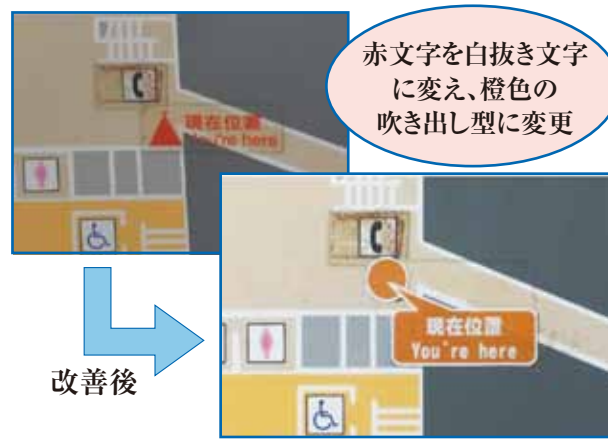
2 【とりぎん文化会館】(電光掲示板)



3 【鳥取砂丘コナン空港】(案内板)

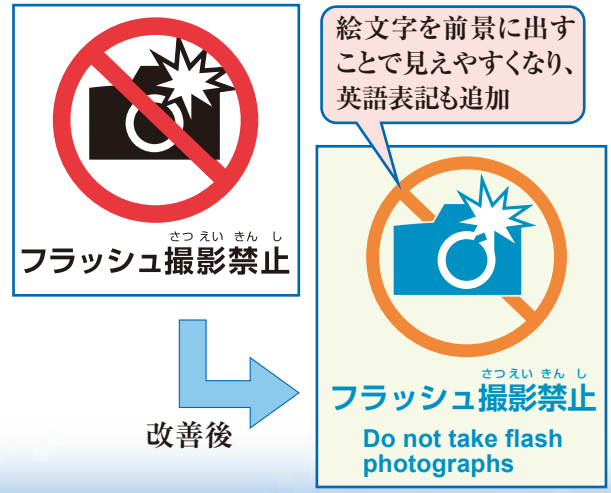


4 【鳥取砂丘コナン空港】(現在地)



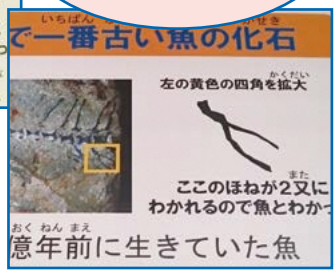
5 【わらべ館】(禁止マーク①)

6 【わらべ館】(禁止マーク②)



7 【県立博物館】(展示説明図)

図が赤黒で
見づらいため、
橙色の四角形を使用



改善後

8 【県立博物館】(チラシ)

色づかいに配慮することで、情報がより分かりやすくなり、できるだけ多くの人に正しい情報が伝わります

主に 6 の2又は3に配慮した事例:文字を太くしたり、絵文字(ピクトグラム)などを使用

9 【県民体育館】(案内表示)

10 【調査対象外の医療機関(協力:鳥取赤十字病院)】

病棟案内を橙色背景、大きな白抜き文字に変更し、併せて英語表記も追加

ゴミの分別がしやすいように絵や文字表示がしてあり、投入口が色枠で分かりやすくなっています

8 まとめ

カラーユニバーサルデザインを進める上で最も大切なことは、誰にでも分かりやすい色を使うことです。施設において、案内・サイン・印刷物などの色づかいに配慮することにより、できるだけ多くの利用者に情報が正確に伝わるようになります。この改善事例が、少しでも皆様のお役に立つことを願っています。

詳しくは下の二次元コードから「カラーユニバーサルデザインガイドブック」をダウンロードしてください。

問合せ先 鳥取県地域社会振興部人権尊重社会推進局人権・同和対策課
〒680-8570 鳥取市東町1-220
TEL.0857-26-7121 FAX.0857-26-8138
E-mail:jinken@pref.tottori.lg.jp